

第2回東京都福祉局・保健医療局指定管理者評価委員会 <議事要旨>

1 会議概要

- (1) 開催日時 令和5年7月20日(木) 午後2時から午後5時まで
- (2) 開催場所 都庁第一本庁舎33階 特別会議室S1
- (3) 出席委員 石渡委員長、安保委員(※)、亀岡委員、川松委員 (※オンライン参加)

2 議 事

(1) 議 題

二次評価について

(2) 会議の公開

利用者のプライバシーを守るため非公開とする。

(3) 議事内容(利用者のプライバシーに係る部分は除く。)

施設所管部ごとに、一次評価結果の概要説明及び委員からの事前質問への回答を行った後、資料2「二次評価結果(案)」をもとに審議

【保健医療局 医療政策部所管施設】

<リハビリテーション病院>

- ・職員の訓練士及び医師の女性比率(それぞれ52.8%、35.3%)が高いことが確認できた。
- ・コロナが落ち着いてからも多くの病院で患者数が減っている現状があるが、本病院の病床利用率はどの程度なのか。
→コロナ禍であった2年度から4年度は80%前半であったが、5年度は92%程度に回復している。

<心身障害口腔保健センター>

- ・患者アンケートの結果を踏まえ、外国人が受診しやすいよう院内の環境整備を行ったとのことであるが、その内容を教えていただきたい。
→ポケット型の音声翻訳機の導入など

【福祉局 子供・子育て支援部所管施設】

<石神井学園>

- ・本園で実施している連携型専門ケア機能モデル事業は、他者からどのように評価されているのか。

→現在、学識経験者等を交えた検証委員会において実績等について検討を行っているところであるが、入所率が少し低いものの、取組の好事例が積み重なってきており、高い効果が得られているのではないかといった意見を頂いている。

- ・利用者の要望を受け改善等を行った取組事例は、同法人の他施設にも展開した方が良いと思うが、行われているのか。

→より良い支援として共通化できる取組については、施設内や施設間の各種会議等で共有に努めている。

<小山児童学園>

- ・要改善事項が連続で発生しているが、日頃から職員がフランクに話し合いができるような職場づくりが行われているのか。

→事故の検証の中で、職員相互のチェック機能が不十分だったのではないかと振り返りもあり、引き続き体制構築を進めているところである。

【福祉局__障害者施策推進部所管施設（東大和療育センター・東部療育センター以外）】

<東村山福祉園・七生福祉園>

- ・不適切支援に対しては、厳しく受け止めて評価をすべき。職員の日頃の努力を否定するものではない。
- ・事案が発生したことを組織として受け止め、新たな支援方法を組み立てるなど、今後の対応策をきちんと考えることが大事である。

<清瀬喜望園>

- ・引当金及び引当資産、積立金及び積立資産について確認

【福祉局__障害者施策推進部所管施設（東大和療育センター・東部療育センター）】

<東大和療育センター>

- ・ワクチンの事故については、管理を徹底し、再発防止に努めてほしい。

<共 通>

- ・今後、地域支援に対する両施設の果たすべき役割について検討してほしい。
- ・引当金及び引当資産、積立金及び積立資産について確認

【全 体】

- ・一次評価において、要改善事項の評価方法が統一化されていないため、事務局において次年度に向けて改善を図って欲しい。

(5) 二次評価の決定二次評価（案）について、評価ポイントが分かりやすくなるよう一部修文の上、全施設において案のとおり評価を決定